教 員 氏 名	基村　昌代	職　位	准教授
最 終 学 歴	愛知県立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了		
学　　位	修士（芸術学）（愛知県立芸術大学）		
役　　職	教育・保育職支援センター長	委員会	教育・保育職支援センター、入試委員会
担 当 科 目	「幼児音楽ⅡA・ⅡB」「音楽」「芸術の世界」「幼児と表現」「保育内容指導法（表現）」「保幼小連携総論」「保育実践演習」「保育実習Ⅰ」「総合演習ⅠA、ⅠB」「総合演習ⅡA、ⅡB」「卒業研究」		
教科書・教材・教育方法の実践例	1.　基礎歌唱法及びピアノ奏法を、ピアノ曲及び幼児歌曲などの弾き歌いや斉唱・重唱を用いて学ぶ授業では、個々の力量に添って指導を行うため、学生一人ひとりの得意不得意な箇所を細かくチェックし、その学生に合う指導を心掛けている。また音楽表現は言葉や文章では伝わらない部分も多いため、自らが実演し、指導や助言を行うようにしている。歌唱では音声学を踏まえた上で、学生の身体や喉の状態を考慮しながら実践を行っている。また、幼・保・小の現場を想定した弾き歌いの実践を行うようにしている。子どもの音楽的発達や身体的発達を理解し、成長に沿った表現活動が出来るよう、学生とのディスカッションを多く取り入れている。学生が音楽を好きになることが大きな課題で、技術向上はその気持ちから生まれてくると考えるため、身体を動かしながら、またはシアターゲームなどで気持ちをほぐして歌うなど、楽しみながら学べる授業を心掛けている。また、楽譜を読む力を養うため、ITC を利用した独自のオンライン譜読課題 80 問を作成し、毎週の課題として課している。正解率が上がり、回答時間が１年間で平均２分ほど早くなっており、成果が表れている。 2.　幼稚園・保育園での音楽表現活動と小学校での音楽教科及び音楽表現活動についての授業では、子どもの音楽的発達及び身体的発達をよく理解しておくことが重要である。そのため０～１２歳までの子どもの発達について映像を使用するなどして学ぶようにしている。また幼・保・小の音楽表現活動の連携についても、現場で行われている活動を映像で鑑賞し、どのようにすればより良い活動になるか、そして幼・保・小の連携をスムーズに行うにはどのような工夫が必要かなど、グループディスカッションを多く取り入れるようにしている。		

教育研究業績	1. ワーグナープロジェクト名古屋「RING」 ワーグナー：序夜と 3 日間のための舞台祝典劇「ニーベルングの指環」４部作　指揮：三澤洋史、演出：佐藤三晴 ・第１夜　楽劇「ワルキューレ」全３幕　ブリュンヒルデ役 平成 29 年 06 月 11 日　愛知県立芸術劇場コンサートホール ・第２夜　楽劇「ジークフリート」全３幕　ブリュンヒルデ役 平成 30 年 09 月 02 日　愛知県立芸術劇場コンサートホール ・第３夜　楽劇「神々の黄昏」全３幕　ブリュンヒルデ役 平成 31 年 08 月 18 日　愛知県立芸術劇場コンサートホール 2. びわ湖ホールプロデュースオペラ　ワーグナー「ニーベルングの指環」４部作　第１夜 楽劇「ワルキューレ」全３幕　指揮：沼尻竜典　演出：ミヒャエル・ハンペ　ゲルヒルデ役（ブリュンヒルデ・アンダースタディ）　平成 30 年 03 月 04 日　滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール 3. 名古屋テアトロ管弦楽団主催　歌劇「トゥーランドット」全３幕　指揮：佐藤正浩　名古屋テアトロ管弦楽団　名古屋テアトロ合唱団　トゥーランドット役　平成 30 年 07 月 01 日　東海市芸術劇場大ホール 4. びわ湖ホール「ジルヴェスター・コンサート」2018-2019　指揮：沼尻竜典　演出・構成：岩田達宗　司会：桂米團治　大阪交響楽団　歌劇「蝶々夫人」抜粋　蝶々夫人役　平成 30 年 12 月 31 日　滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール 5. 第 27 回岡崎市民クラシックコンサート　第 36 回岡崎第九演奏会　指揮：井上道義　管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団　ソリスト：基村昌代、福原寿美枝、宮里直樹、デニス・ビシュニャ　平成 31 年 12 月 21 日　岡崎市民会館
所属学会	1. 日本保育学会会員　（現在に至る） 2. 日本音楽教育学会会員　（現在に至る） 3. 日本演奏連盟会員　（現在に至る） 4. 東京二期会会員　（現在に至る）